



令和4年度 学校だより

国上っ子

西之表市立国上小学校

令和4年7月20日発行

令和4年度第4号

Tel : 0997-28-0001

Fax : 0997-28-0008



<http://www.nishinoomote.jpn.org/kunigami/>

夏休みスタート ～子供たちの活動の舞台は家庭と地域です！

校長 鹿屋 純一

明日から 42 日間の夏休みが始まりますが、気になるのは新型コロナウイルス感染症の第7波の急拡大です。本校が本日まで順調に教育活動を行うことができたのも、子供たちや保護者、教職員が一丸となって感染予防を心がけた結果だと思えます。この夏休み中は、家庭や地域が子供たちの生活の中心となります。引き続き、感染症予防と熱中症に注意して、有意義な夏休みを過ごさせてください。

1学期の授業日数は74日(5・6年生は73日)間でしたが、1日も休まずに登校できた児童は32人中15人で、全体の半数以下という結果でした。欠席0で過ごすことができた背景には、規則正しい生活や食事、運動など、健康の基盤となるものが備わってきていると考えられます。子供たち自身の心掛けもありますが、保護者や家族の努力のお蔭でもあります。



校区校外生活指導連絡会での見守り活動確認(7/13)

毎朝、あいさつ坂の下で子供たちを迎えていると、笑顔で名前付き挨拶をする子、沈みがちな表情やうつむきがちに歩いて来る子など、子供たちの変化がよく分かります。中には、口をもぐもぐさせて、口の周りには車の中で食べていたものが付いていたり、何も食べていないと言ったりする子など、課題を抱えていることが分かることもあります。また、学校では定期的なアンケート調査や日記、担任との会話や教育相談、昼休みに遊ぶ子供たちの表情などから、子供たちが心身ともに成長できるように見守っています。1学期中は「いじめ0」で過ごせたのではないかと考えていますが、教職員が気付いていないことがあるかもしれません。気になることは、どなたでも遠慮無く学校までお知らせください。

本日子子供たちが持ち帰った通知表には、この1学期間の学習や生活の記録が記されています。○の数を数えて終わりではなく、まずは担任が子供たち一人一人と向き合って書いた所見を親子で読んでください。子供たちの努力やこれからの成長に必要なことが書かれているはずです。その上で、夏休みを活用して取り組むことを親子で考えてください。

子供たちが意欲的がんばろうとする気持ちは、大切な人から認められることで育ちます。一番大切に感じている人も憧れや目標としている人もきっと親です。だからこそ親の言動は、子供的人格形成に大きな影響を与えます。子供たちとしっかりと向き合い、責任ある行動で子供たちを支えていきましょう。規則正しい生活と3回の食事、むし歯や病気の治療、家の手伝い、ラジオ体操などの子供会や地域行事への参加等に時間を計画的に使いましょう。地域ぐるみで水難事故や交通事故防止にも取り組み、子供たちの健康や安全を見守ってください。子供たちがこの夏休みにたくさんの思い出や自信をもって、2学期の始業式に笑顔で臨むことを楽しみにしています。

命を守る訓練 ～こんなときどうすればいいかな～

6月24日(金)には、種子島警察署と国上郵便局の御協力でもとも110番の家への駆け込みを想定した不審者対応訓練を行いました。本当に困っている人もいるので、知らない人を不審者と考えるのはよくありませんが、万一に備え、どのような接し方が大切なのかを考える機会になりました。

また、水難事故防止に向けての注意点や海や川に落ちてしまったときの対処法など、命を守る訓練も、海上保安署の保安官5名を講師として招き、分かりやすくそして体験活動を通して学びました。

教師や保護者も、家庭教育学級で救命救急や心肺蘇生法・AEDの使い方なども研修しました。今年も、事故0、安心安全な生活が続くように注意して過ごしましょう。



子ども110番の家・不審者対応訓練



海上保安署による着衣泳指導

第30回 われは海の子 国上の子 古田の子 浦田湾横断遠泳大会終了

7月17日(日)には、今回で最後の開催となる『第30回 われは海の子 国上の子 古田の子 浦田湾横断遠泳大会』を開催しました。両校の4～6年生21人と伴泳者が浦田漁港奥から浦田海水浴場までの約1kmを約45分間で泳ぎ切りました。

6月25日(土)には、多くの皆様方の御協力を得て、浦田海水浴場で試泳を行いました。試泳当日は、波も穏やかで海はきれいでした。足の着かない海、そして泳力に自信がないということから不安そうに泳ぐ子供たちも数名いましたが、全員で泳ぐことができました。両校の関係者や西之表市サーフィン連盟の方、当日も監視船を出してくださった元PTA会長の戸川信正様、御協力ありがとうございました。

また、遠泳大会1週間前の7月10日(日)には、スタート地点清掃やゴール用の竹切りを行いました。両校の保護者や教職員、ごみを集めたり、高圧洗浄機で海苔を落としたりしました。今年も人数が多かったので、短時間で整備できました。

大会当日には、来賓として西之表市長の八板俊輔様(今年も子供たちと泳がれました)、教育長の佐藤秀正様、古田区長の窪田良二様、種子島医療センターの田上寛容様をはじめとする医師の皆様、ドローンによる監視と撮影に御協力くださる藤田建設の興業の藤田大様にも御参加いただき、開会式を行い、遠泳大会がスタートしました。

開会式終了後は、スタート地点まで徒歩で移動し、「頑張るぞ！オー！」の掛け声の後、ほら貝の合図で9時25分に入水しました。前日の雨で川から流入した水が増えたため、水面近くの水は低かったです。また、向かい風で泳ぎにくかったですが、全員が力強く泳ぎました。今年度は、国上小学校、古田小学校の順で隊列を組みました。浦田漁港の岸壁には、保護者や家族だけではなく、地域の皆様も応援に集まってくださり、岸壁からの熱い声援に子供たちは手を振ったり、笑顔で返事を返したりして元気に泳ぎました。泳いでいる人と応援している人が一つになった感じがしました。漁港から出るときには波がうねりと共に寄せてきました。そのために泳ぐ人も船も上下に揺れました。しかし、沿道や浜辺からの声援とお互いの励ましの言葉で、浦田海水浴場のゴール地点の横断幕が少しずつ大きく見えてきました。そして、スタートから約50分後の10時15分頃、全員が無事にゴールしました。

監視船の戸川信正様と黒木貞夫様、岩元清美様、救護船の福元清様には、最後まで丁寧に安全な操船とスムーズな運営に御協力いただきました。ありがとうございました。

閉会式終了後には、浜辺で両校の児童の交流活動が行われ、岩元明穂会長を中心にサーフィン体験やゴムボートでの遊びを楽しみました。

国上小と古田小2校での遠泳大会は、今回で幕を閉じますが、来年度からは、西之表市の遠泳大会一本に向けて遠泳には取り組みます。国上小学校が地域の皆様の御協力に支えられていることを今回も実感しました。これまでの歴史ある本大会の運営に携わってくださった多くの皆様、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。



浦田海水浴場での試泳(6/25)

市教委の職員の方々と



開会式での誓いのことば



ほら貝の合図でスタート!



力泳する子供たちと応援団



サーフィン連盟の協力による交流活動



両校の児童全員が手をつないでゴールしました!

7・8月の主な行事予定

7月	20日(水)	1学期終業式・緊急時待機訓練
	21日(木)	夏季休業日・教育相談月間(～8月31日)
	22日(金)	西之表市浦田遠泳大会
8月	1日(月)	出校日・稲刈り体験活動・校外補導
	8日(日)	餅米脱穀作業(PTA事業部)
	11日(木)	(祝)山の日・リフレッシュウイーク(～17日)

【7/21～8/31は、水難事故防止運動協調月間です】

8月	13日(土)	学校完全閉庁(～15日)
	19日(金)	出校日・校外補導
	21日(日)	PTA奉仕作業(7:00～)
	21日(日)	種子島鉄砲祭り・合同補導
	28日(日)	学校美化作業(湊・浦田)
9月	1日(木)	2学期始業式